



壁を越えて情報を届ける―

声の広報による

障がい者支援と社会参加

視覚障害で身体障害者手帳を所有する市民の数

1級	38人	4級	3人
2級	49人	5級	14人
3級	8人	6級	2人

※障害が複数ある場合は、視覚障害の程度が重い人を、上記の人数に含めています。

視覚障がい者に対する糸満市の主な支援策

同行援護事業

視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に対し、移動に必要な情報提供や移動の援護などを行う同行援護を実施。

補装具事業

失われた視覚の機能を補完するため、義眼や盲人安全つえなどの補装具の製作と修理に要する費用の支給を実施。

日常生活用具給付事業

視覚障害の人の日常生活の便宜を図るため、点字器や点字タイプライター、拡大読書器などの購入に要する費用の支給を実施。

視覚障がい者は、何らかの原因で視覚に障害がある人のことを指しますが、視覚障害と一口に言っても、視力が「ある」「ない」だけの単純な状態ではありません。視覚障害には、視覚的な情報がまったく得られない「盲」と、文字の拡大や視覚補助具などを使用し、保有する視力を活用できる「弱視」があります。視力をほとんど活用できない「盲」の人の場合、音声、触覚、嗅覚など、視覚以外の情報を手がかりに周囲の状況を把握して生活しています。視力がある程度活用できる「弱視」

の人は、補助具の使用や文字の拡大、近づいて確認するなど、さまざまな工夫をしていますが、読み書きの負担が大ききこともあります。糸満市では「誰もが平等に」行政情報を取得できるよう、広報紙を音訳（※）したCDを希望する人へ配布しています。今回は、広報紙や市議会だよりの音訳活動をする音訳サークル「リーディングサークル・ラッキーマウス」と、広報紙の音訳に協力いただいている市民ボランティアの皆さんへお話を聞きました。（※）音訳とは、文字を音声に置き換える音声訳のこと。

行政組織の一部が変わります！

糸満市では、第5次糸満市総合計画でまちづくりの将来像に「つながりを深めチャレンジするまち糸満市」を掲げ、計画実現に向けて取り組んでいます。

その実現および効率的・効果的な組織運営に向けて、4月1日から、次のとおり行政組織の一部を改編しました。



真栄里地区事業推進局の新設

〈 真栄里地区事業推進局 〉

真栄里地区事業推進課

真栄里地区事業推進係

企業誘致係

区画整理課

区画整理第一係

区画整理第二係

こども家庭係の新設

〈 こども未来部 〉

こども未来課

こども政策係

こども未来係

こども家庭係

#糸満PR大使



gokaboukya

糸満の魅力をゆるく発信。ぜひ、フォローしてみてください。



沖縄県糸満市 Itoman City

■人口

	2月	前月比
人口	62,565	-17
男	31,703	-6
女	30,862	-11
世帯数	28,592	25

■火災・救急

	2月	前年比
火災	1件 (2件)	-3 (-4件)
救急	274件 (590件)	-22 (-39件)

※()内は令和6年の累計

■面積 46.60Km² (2021年10月1日現在)

■市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル

■市の花 日野草 ■市の魚 タマン

(人口、世帯数、火災・救急件数は2024年2月末現在)

今月の題字

おもしろ ゆい 大城 結衣さん

今月号の題字は、4月から新高校1年生になった大城結衣さんです。結衣さんは「題字を書くときに、毛先のシュツとした筆をイメージして、自身の個性を出してみました。将来は弁護士を目指しているので、高校では勉強を頑張りたいです」と話しました。



広報 ITOMAN

「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FM たまん)

- 月～金
- ① 7時45分～7時50分
- ② 12時55分～13時
- ③ 17時55分～18時
- 土～日
- ④ 12時55分～13時